

平成 23 年度『人口と食糧』

2011 年 10 月 05 日

時 限：金曜日 2 限 10:40～12:10（10 月 7 日開講）

教 室：農学部 8 番教室

担当教員：齋藤勝宏、中嶋康博、森田茂紀、長戸康郎、難波成任、飯田俊彰
真鍋 昇、青木一郎、良永知義、妹尾啓史、篠崎和子、佐藤隆一郎

授業の目標・概要

食糧に対する需要、食糧生産に利用可能な資源、食糧生産の技術の 3 つの側面から、人類が直面している食糧問題の現状とその解決策について講義する。食糧問題に関するバランスのとれた知識と食糧生産に関わる最先端の科学のエッセンスを伝えることにより、農学生命科学を専門的に学ぶ意義について、グローバルな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義は大きく分けて 4 つのパートからなる。第一に、食糧問題の構図を把握するための講義であり、世界の食糧需給の展望や、食糧需要変動要因としての人口や所得水準の問題を取りあげる。第二に、耕地生態系における食糧生産について、資源の賦存状況と利用技術の観点から概説する。第三に、畜産資源や水産資源の管理と食料生産を取りあげ、グローバルな視野と歴史的な観点から、利用技術の発展や資源の賦存状況について解説する。第四に、土壌学や植物バイオテクノロジーの観点から食糧生産の科学について取り上げるとともに、作物の病気の防除の現状や重要性について解説する。

授業計画

- 1 齋藤(10/07) ガイダンス・世界の食糧事情
- 2 齋藤(10/14) 食糧生産と研究開発
- 3 中嶋(10/21) 人口政策と食糧の分配
- 4 森田(10/28) 作物栽培システムと生態環境・栽培管理
- 5 長戸(11/04) 作物生産力の遺伝的改変
- 6 飯田(11/11) 水資源の管理と食糧生産
- 7 難波(11/18) 作物の病気と食糧生産
- 8 青木(12/02) 水圏における食料生産の特徴
- 9 良永(12/09) 水産資源の増養殖
- 10 青木(12/16) 水産資源の管理と将来
- 11 真鍋(01/13) 動物資源と食料生産：畜産の多様性と役割
- 12 妹尾(01/20) 作物生産を支える土壌：土壌肥沃土の維持・評価
- 13 篠崎(01/27) 地球環境劣化と食糧の確保：環境耐性作物の開発
- 14 佐藤(01/31) 健康と食料：食品機能の活用と健康維持

注意：1 月 31 日(火)は補講日だが、授業回数で通常の講義を行う。

評価方法：出席とレポート提出により評価する。

教科書等：生源寺眞一編著『人口と食糧』、朝倉書店

関連ホームページ：<http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~asaito/>

メールアドレス：a s a i t o@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp（代表教員：齋藤勝宏）

メールの際にはタイトルの先頭に「【人口と食糧】」と付け加えてください。